

窒素付加ペレット堆肥を発売

農事組合法人合志バイオX

堆肥製造・販売の農事組合法人合志バイオX（合志市幾久富、長野昌治理事長）は、このほど窒素付加ペレット堆肥の販売を開始した。

ンモニアを吸引し、発酵後の堆肥に吸着させることで、窒素成分を多く含んだ堆肥にしたもの。ペレット化することにより形の崩れや、雨、風による飛散が少なくなるほか、製造の過程で十分乾燥しているため、カビが発生しにくく、保管期間も通常より長いという。

長野理事は「同商品は有機質肥料として利用でき、科学肥料の削減で安心安全な作物栽培に役立ててほしい」と話した。同社は2007（平成19）年設立、従業員は5人。

同製品は堆肥を乾燥・圧縮しペレット状に成型した堆肥で、名称は「窒素付加牛糞堆肥 合志の恵みレポリユーション」。価格は20リットル、700円で売り上げ目標は5000万円。同商品は、2008年より同社で販売している「牛糞堆肥ペレット 合志の恵み」（20リットル、500円）を改良したもので、牛ふんを発酵する過程で失われるア

同組合が製造・販売するペレット堆肥「合志の恵み」



▲ペレット化された堆肥

▲従業員と長野昌治理事長（中央）



▲乾燥後の堆肥をペレット状に加工する機械